

平成 23 年度調査項目・追加項目	現行プラン掲載の有無・意見等	平成 28 年度実施項目（案）																																																																																																									
<p>問 1. あなたは、次にあげるような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(1)から(6)のそれぞれについて選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)</p> <table border="1" data-bbox="163 315 1023 945"> <thead> <tr> <th></th> <th>男性のほうに優遇されている</th> <th>どちらかといえば男性の方が優遇されている</th> <th>平等</th> <th>どちらかといえば女性の方が優遇されている</th> <th>女性の方が非常に優遇されている</th> <th>わからない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 家庭生活で</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>(2) 職場で</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>(3) 学校教育の場で</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>(4) 社会通念・慣習・しきたりなどで</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>(5) 地域活動で(自治会・町内会、PTA、ボランティアなど)</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>(6) 社会全体で</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>		男性のほうに優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	(1) 家庭生活で	1	2	3	4	5	6	(2) 職場で	1	2	3	4	5	6	(3) 学校教育の場で	1	2	3	4	5	6	(4) 社会通念・慣習・しきたりなどで	1	2	3	4	5	6	(5) 地域活動で(自治会・町内会、PTA、ボランティアなど)	1	2	3	4	5	6	(6) 社会全体で	1	2	3	4	5	6	<p>目標値 プラン P.15 (重点目標 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「職場」における男女の平等感 <p>参考数値 同 P.7 (重点目標 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女の平等感 (学校で、家庭生活上で、職場で、社会通念・慣習等で、地域活動で、社会全体で) <p>グラフ掲載 同 P.3</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女の地位の平等感 (学校で、職場で、社会通念・慣習・しきたりなど、地域活動で、社会全体で) <p>【他の調査との重複】</p> <ul style="list-style-type: none"> 内閣府 <p>H18 年度調査の有無</p> <ul style="list-style-type: none"> 有 ((5)、(6)は追加) <div data-bbox="1083 766 1899 987" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>一部追加</p> <ul style="list-style-type: none"> 指標となっており、いろいろな場面での男女共同参画進捗状況を測るデータとしても有効であるため、前回と同じ内容で実施 (1)を追加し、政策決定の場における平等について聞く。 </div>	<p>問 1. あなたは、次にあげるような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(1)から(7)のそれぞれについて選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)</p> <table border="1" data-bbox="2003 315 2864 987"> <thead> <tr> <th></th> <th>男性のほうに優遇されている</th> <th>どちらかといえば男性の方が優遇されている</th> <th>平等</th> <th>どちらかといえば女性の方が優遇されている</th> <th>女性の方が非常に優遇されている</th> <th>わからない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 議会・行政等の政策決定の場で</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>(2) 家庭生活で</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>(3) 職場で</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>(4) 学校教育の場で</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>(5) 社会通念・慣習・しきたりなどで</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>(6) 地域活動で(自治会・町内会、PTA、ボランティアなど)</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>(7) 社会全体で</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>		男性のほうに優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	(1) 議会・行政等の政策決定の場で	1	2	3	4	5	6	(2) 家庭生活で	1	2	3	4	5	6	(3) 職場で	1	2	3	4	5	6	(4) 学校教育の場で	1	2	3	4	5	6	(5) 社会通念・慣習・しきたりなどで	1	2	3	4	5	6	(6) 地域活動で(自治会・町内会、PTA、ボランティアなど)	1	2	3	4	5	6	(7) 社会全体で	1	2	3	4	5	6
	男性のほうに優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない																																																																																																					
(1) 家庭生活で	1	2	3	4	5	6																																																																																																					
(2) 職場で	1	2	3	4	5	6																																																																																																					
(3) 学校教育の場で	1	2	3	4	5	6																																																																																																					
(4) 社会通念・慣習・しきたりなどで	1	2	3	4	5	6																																																																																																					
(5) 地域活動で(自治会・町内会、PTA、ボランティアなど)	1	2	3	4	5	6																																																																																																					
(6) 社会全体で	1	2	3	4	5	6																																																																																																					
	男性のほうに優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない																																																																																																					
(1) 議会・行政等の政策決定の場で	1	2	3	4	5	6																																																																																																					
(2) 家庭生活で	1	2	3	4	5	6																																																																																																					
(3) 職場で	1	2	3	4	5	6																																																																																																					
(4) 学校教育の場で	1	2	3	4	5	6																																																																																																					
(5) 社会通念・慣習・しきたりなどで	1	2	3	4	5	6																																																																																																					
(6) 地域活動で(自治会・町内会、PTA、ボランティアなど)	1	2	3	4	5	6																																																																																																					
(7) 社会全体で	1	2	3	4	5	6																																																																																																					
<p>問 2. あなたは、次のような考え方について、どのように思いますか。(1)から(5)のそれぞれについて選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)</p> <table border="1" data-bbox="163 1134 1023 1690"> <thead> <tr> <th></th> <th>そう思う</th> <th>どちらかといえばそう思う</th> <th>どちらともいえない</th> <th>どちらかといえない</th> <th>そう思わない</th> <th>わからない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべき</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>(2) 一生独身でくらすより結婚した方がよい</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>(3) 結婚したら子どもをもつべき</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>(4) 結婚しても相手に満足できないときは離婚した方がよい</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>(5) 働くからには、昇進・昇格したい</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえない	そう思わない	わからない	(1) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべき	1	2	3	4	5	6	(2) 一生独身でくらすより結婚した方がよい	1	2	3	4	5	6	(3) 結婚したら子どもをもつべき	1	2	3	4	5	6	(4) 結婚しても相手に満足できないときは離婚した方がよい	1	2	3	4	5	6	(5) 働くからには、昇進・昇格したい	1	2	3	4	5	6	<p>グラフ掲載 同 P.3</p> <ul style="list-style-type: none"> 夫は外で働き、妻は家庭を守るべき (神奈川県・全国) <p>《吉田委員》</p> <ul style="list-style-type: none"> 「男女の役割等に関する意識」本当の理由が知りたいので、理由を記入するようにしてほしい。→この設問形式の場合理由の記載は不可能 <p>《戸山委員》</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択肢が 6 段階とあるが、YES、NOでよい。→平成 7 年からの調査なので、変更は困難。 (5)の設問については、質問の趣旨が不明であり、この位置でよいのが気になる。→前回追加した女性活躍関連の項目なので引き続き実施。 <p>【他の調査との重複】</p> <ul style="list-style-type: none"> 内閣府 <p>H18 年度調査の有無 有 ((5)は追加、削除は「女性は仕事を持つのはよいが、家事・育児はきちんとするべき」「テレビや広告などの女性の水着や裸に近い姿について抵抗を感じる時がある」)</p> <div data-bbox="1083 1690 1899 1879" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>一部変更</p> <ul style="list-style-type: none"> 内閣府の調査もほぼ同様の問いと答えになっており、経年変化を測る上でもあえて変更する必要はない。(文言を修正する) </div>	<p>問 2. あなたは、次のような考え方について、どのように思いますか。(1)から(5)のそれぞれについて選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)</p> <table border="1" data-bbox="2003 1134 2864 1690"> <thead> <tr> <th></th> <th>そう思う</th> <th>どちらかといえばそう思う</th> <th>どちらともいえない</th> <th>どちらかといえない</th> <th>そう思わない</th> <th>わからない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 夫は外で働き、妻は家庭を守る方がよい</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>(2) 一生独身でくらすより結婚した方がよい</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>(3) 結婚したら子どもをもつ方がよい</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>(4) 結婚しても相手に満足できないときは離婚もやむを得ない</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>(5) 働くからには、昇進・昇格した方がよい</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえない	そう思わない	わからない	(1) 夫は外で働き、妻は家庭を守る方がよい	1	2	3	4	5	6	(2) 一生独身でくらすより結婚した方がよい	1	2	3	4	5	6	(3) 結婚したら子どもをもつ方がよい	1	2	3	4	5	6	(4) 結婚しても相手に満足できないときは離婚もやむを得ない	1	2	3	4	5	6	(5) 働くからには、昇進・昇格した方がよい	1	2	3	4	5	6																					
	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえない	そう思わない	わからない																																																																																																					
(1) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべき	1	2	3	4	5	6																																																																																																					
(2) 一生独身でくらすより結婚した方がよい	1	2	3	4	5	6																																																																																																					
(3) 結婚したら子どもをもつべき	1	2	3	4	5	6																																																																																																					
(4) 結婚しても相手に満足できないときは離婚した方がよい	1	2	3	4	5	6																																																																																																					
(5) 働くからには、昇進・昇格したい	1	2	3	4	5	6																																																																																																					
	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえない	そう思わない	わからない																																																																																																					
(1) 夫は外で働き、妻は家庭を守る方がよい	1	2	3	4	5	6																																																																																																					
(2) 一生独身でくらすより結婚した方がよい	1	2	3	4	5	6																																																																																																					
(3) 結婚したら子どもをもつ方がよい	1	2	3	4	5	6																																																																																																					
(4) 結婚しても相手に満足できないときは離婚もやむを得ない	1	2	3	4	5	6																																																																																																					
(5) 働くからには、昇進・昇格した方がよい	1	2	3	4	5	6																																																																																																					

平成 23 年度調査項目・追加項目	現行プラン掲載の有無・意見等	平成 28 年度実施項目（案）																																												
<p>【問 3 は、現在、職業（アルバイトなどを含む。）についている方のみお答えください】</p> <p>問 3. 一般的に、職業についている場合、「仕事」、「家庭生活」、「地域や個人の生活（地域活動、学習、趣味、付き合い等）」について、(1) 女性の場合、(2) 男性の場合、どれを優先させるのがよいと思いますか。また、(3) あなたご自身の現在の状況に一番近いものはどれですか。(1) から(3) のそれぞれの場合について選んでください。(○はそれぞれ 1 つずつ)</p> <table border="1" data-bbox="142 506 1032 1081"> <thead> <tr> <th></th> <th>「仕事」を優先</th> <th>「家庭生活」を優先</th> <th>「地域や個人の生活」を優先</th> <th>「仕事」と「家庭生活」をともに優先</th> <th>「仕事」と「地域や個人の生活」をともに優先</th> <th>「家庭生活」と「地域や個人の生活」をともに優先</th> <th>全てを優先</th> <th>わからない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 女性の場合</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>(2) 男性の場合</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>(3) ご自身の現在の状況</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>		「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「地域や個人の生活」を優先	「仕事」と「家庭生活」をともに優先	「仕事」と「地域や個人の生活」をともに優先	「家庭生活」と「地域や個人の生活」をともに優先	全てを優先	わからない	(1) 女性の場合	1	2	3	4	5	6	7	8	(2) 男性の場合	1	2	3	4	5	6	7	8	(3) ご自身の現在の状況	1	2	3	4	5	6	7	8	<p>【他の調査との重複】</p> <ul style="list-style-type: none"> 内閣府 <p>H18 年度調査の有無</p> <ul style="list-style-type: none"> 有（2 つの問い（「理想」と「現状」）を合体し、選択肢を改定） <div data-bbox="1181 506 1872 772" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>不採用</p> <ul style="list-style-type: none"> ワーク・ライフ・バランスに対する意識調査であるが、プランに掲載することを前提に、問 4（新規の追加項目の例①）に入れ替える。 </div>	<p>不採用</p>								
	「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「地域や個人の生活」を優先	「仕事」と「家庭生活」をともに優先	「仕事」と「地域や個人の生活」をともに優先	「家庭生活」と「地域や個人の生活」をともに優先	全てを優先	わからない																																						
(1) 女性の場合	1	2	3	4	5	6	7	8																																						
(2) 男性の場合	1	2	3	4	5	6	7	8																																						
(3) ご自身の現在の状況	1	2	3	4	5	6	7	8																																						
<p>【問 4 は、配偶者のいる方のみお答えください】</p> <p>問 4. あなたの家庭では、家事、育児、ご自身の親（実親・義理親）の介護を主にどなたがしていますか。次の(1) から(3) について、それぞれあてはまるものを選んでください。(○はそれぞれ 1 つずつ)</p> <p>(1) 家事 (○は 1 つ)</p> <table border="1" data-bbox="142 1318 1032 1451"> <tbody> <tr> <td>1. ほとんど妻</td> <td>4. どちらかというと夫</td> </tr> <tr> <td>2. どちらかというと妻</td> <td>5. ほとんど夫</td> </tr> <tr> <td>3. 夫と妻が同じくらい分担</td> <td>6. 親や子どもなど夫婦以外</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 育児 (○は 1 つ)</p> <table border="1" data-bbox="142 1499 1032 1675"> <tbody> <tr> <td>1. ほとんど子の母親</td> <td>5. ほとんど子の父親</td> </tr> <tr> <td>2. どちらかというの子の母親</td> <td>6. 子の祖父母など親以外</td> </tr> <tr> <td>3. 父親と母親が同じくらい分担</td> <td>7. 育児を必要とする子はいない</td> </tr> <tr> <td>4. どちらかという子の父親</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) ご自身の親（実親・義理親）の介護 (○は 1 つ)</p> <table border="1" data-bbox="142 1724 1032 1900"> <tbody> <tr> <td>1. ほとんど妻</td> <td>5. ほとんど夫</td> </tr> <tr> <td>2. どちらかというと妻</td> <td>6. 親や子どもなど夫婦以外</td> </tr> <tr> <td>3. 夫と妻が同じくらい分担</td> <td>7. 介護を必要とする親はいない</td> </tr> <tr> <td>4. どちらかというと夫</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	1. ほとんど妻	4. どちらかというと夫	2. どちらかというと妻	5. ほとんど夫	3. 夫と妻が同じくらい分担	6. 親や子どもなど夫婦以外	1. ほとんど子の母親	5. ほとんど子の父親	2. どちらかというの子の母親	6. 子の祖父母など親以外	3. 父親と母親が同じくらい分担	7. 育児を必要とする子はいない	4. どちらかという子の父親		1. ほとんど妻	5. ほとんど夫	2. どちらかというと妻	6. 親や子どもなど夫婦以外	3. 夫と妻が同じくらい分担	7. 介護を必要とする親はいない	4. どちらかというと夫		<p>グラフ掲載 同 P. 26（重点目標 3）</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭における役割分担 <p>《戸山委員》</p> <ul style="list-style-type: none"> 人によってすべてやっている方もいれば、まったく関係ない方もいるので、検討が必要ではないか。→以下「継続」の理由により継続。 <p>H18 年度調査の有無</p> <ul style="list-style-type: none"> 有（変更なし） <div data-bbox="1101 1612 1872 1892" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>継続</p> <ul style="list-style-type: none"> 近年問題となっているダブルケア（育児と介護の二重負担）など、女性が担っている家事等の実態を把握するには有効な調査。集計で工夫する（クロス集計する）。 前回と同じ内容で実施。 </div>	<p>継続 【問 3 は、配偶者のいる方のみお答えください。】</p> <p>問 3. あなたの家庭では、家事、育児、ご自身の親（実親・義理親）の介護を主にどなたがしていますか。次の(1) から(3) について、それぞれあてはまるものを選んでください。(○はそれぞれ 1 つずつ)</p> <p>(1) 家事 (○は 1 つ)</p> <table border="1" data-bbox="1979 1360 2870 1493"> <tbody> <tr> <td>1. ほとんど妻</td> <td>4. どちらかというと夫</td> </tr> <tr> <td>2. どちらかというと妻</td> <td>5. ほとんど夫</td> </tr> <tr> <td>3. 夫と妻が同じくらい分担</td> <td>6. 親や子どもなど夫婦以外</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 育児 (○は 1 つ)</p> <table border="1" data-bbox="1979 1541 2870 1717"> <tbody> <tr> <td>1. ほとんど子の母親</td> <td>5. ほとんど子の父親</td> </tr> <tr> <td>2. どちらかという子の母親</td> <td>6. 子の祖父母など親以外</td> </tr> <tr> <td>3. 父親と母親が同じくらい分担</td> <td>7. 育児を必要とする子はいない</td> </tr> <tr> <td>4. どちらかという子の父親</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) ご自身の親（実親・義理親）の介護 (○は 1 つ)</p> <table border="1" data-bbox="1979 1766 2870 1942"> <tbody> <tr> <td>1. ほとんど妻</td> <td>5. ほとんど夫</td> </tr> <tr> <td>2. どちらかというと妻</td> <td>6. 親や子どもなど夫婦以外</td> </tr> <tr> <td>3. 夫と妻が同じくらい分担</td> <td>7. 介護を必要とする親はいない</td> </tr> <tr> <td>4. どちらかというと夫</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	1. ほとんど妻	4. どちらかというと夫	2. どちらかというと妻	5. ほとんど夫	3. 夫と妻が同じくらい分担	6. 親や子どもなど夫婦以外	1. ほとんど子の母親	5. ほとんど子の父親	2. どちらかという子の母親	6. 子の祖父母など親以外	3. 父親と母親が同じくらい分担	7. 育児を必要とする子はいない	4. どちらかという子の父親		1. ほとんど妻	5. ほとんど夫	2. どちらかというと妻	6. 親や子どもなど夫婦以外	3. 夫と妻が同じくらい分担	7. 介護を必要とする親はいない	4. どちらかというと夫	
1. ほとんど妻	4. どちらかというと夫																																													
2. どちらかというと妻	5. ほとんど夫																																													
3. 夫と妻が同じくらい分担	6. 親や子どもなど夫婦以外																																													
1. ほとんど子の母親	5. ほとんど子の父親																																													
2. どちらかというの子の母親	6. 子の祖父母など親以外																																													
3. 父親と母親が同じくらい分担	7. 育児を必要とする子はいない																																													
4. どちらかという子の父親																																														
1. ほとんど妻	5. ほとんど夫																																													
2. どちらかというと妻	6. 親や子どもなど夫婦以外																																													
3. 夫と妻が同じくらい分担	7. 介護を必要とする親はいない																																													
4. どちらかというと夫																																														
1. ほとんど妻	4. どちらかというと夫																																													
2. どちらかというと妻	5. ほとんど夫																																													
3. 夫と妻が同じくらい分担	6. 親や子どもなど夫婦以外																																													
1. ほとんど子の母親	5. ほとんど子の父親																																													
2. どちらかという子の母親	6. 子の祖父母など親以外																																													
3. 父親と母親が同じくらい分担	7. 育児を必要とする子はいない																																													
4. どちらかという子の父親																																														
1. ほとんど妻	5. ほとんど夫																																													
2. どちらかというと妻	6. 親や子どもなど夫婦以外																																													
3. 夫と妻が同じくらい分担	7. 介護を必要とする親はいない																																													
4. どちらかというと夫																																														

平成 23 年度調査項目・追加項目	現行プラン掲載の有無・意見等	平成 28 年度実施項目（案）
<p>【全員の方がお答えください】</p> <p>問 5. 男性が女性とともに家事、育児、介護や地域活動を積極的に行っていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から、特にあてはまるものを 3 つまで選んでください。（○は 3 つまで）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家事などに対する男性の関心を高め、男性自身の抵抗感をなくす 2. 男性が家事などを行うことへの女性の抵抗感をなくす 3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる 4. 男性が家事などを行うことへの職場の理解がすすむ 5. 周囲の人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重する 6. 男性が家事などを行うことについて、社会的評価を高める 7. 男性が家事などを行う時間のゆとりを持つ 8. 男性が家事などの能力を高める 9. 男性が参加できる子育てなどの仲間（ネットワーク）作りをすすめる 10. 家庭と仕事の両立について、男性が相談しやすい窓口を設ける 11. その他（具体的に： ） 12. 特にない </div>	<p>グラフ掲載同 P. 33（重点目標 3）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 男性が家事、育児、介護や地域活動を積極的に行うために必要だと思うこと（複数回答） <p>《吉田委員》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現代の状況に合わせた設問がほしい。育児だけでなく、介護の問題における職場での理解についてももう少し詳しく調査してほしい。 <p>【他の調査との重複】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内閣府 <p>H18 年度調査の有無</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 有（ほとんど変更なし（8. 技能→能力に変更）） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">2つの問を合体し新規</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主として「男性個人の意識の問題」に加え「社会的問題」を洗い出す問いに変更する。 ・ 旧問 5 と例①を合体して一つにし、「職場」「家庭」「意識」の順に並べ替える。 ・ 根っこの問題（固定的性別分担意識）を入れる。 </div>	<p style="font-weight: bold; font-size: 1.2em; color: red;">新規</p> <p>〔設問については H23 県民ニーズ調査、選択肢については内閣府「ワーク・ライフ・バランスに関する個人・企業調査(2013 年度)」を基に作成〕</p> <p>問 4. 男性が家事、育児、介護や地域活動に関わっていけるようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から、特にあてはまるものを 3 つまで選んでください。（○は 3 つまで）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 職場の人員配置に余裕ができること 2. 上司・同僚の理解があること 3. 残業が少なくなること 4. 休暇が取りやすくなること 5. 昇進・昇給への悪影響を気にせずに済むこと 6. 時間当たりの賃金が改善（アップ）すること 7. 時間の使い方の優先順位を変えること 8. 配偶者が仕事を持つなど、家事等に取り組む必要性があること 9. 配偶者と家事等の分担についてコミュニケーションをはかること（旧(3)+(9)） 10. 家事等は女性が行うべきという意識が変わること
<p>〔内閣府「ワーク・ライフ・バランスに関する個人・企業調査」(2013 年度)の例〕</p> <p>例①. 日本は、世界の中でも夫の家事（育児）関連が短い状況ですが、夫が家事・育児時間を増やすためにどのようなことが必要だと思いますか。次の中から、あてはまるものを選んでください。（○はいくつでも）</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 残業が少なくなること (2) 休暇が取りやすくなること (3) 配偶者とのコミュニケーションを向上すること (4) 職場の人員配置に余裕ができること (5) 家事・育児のスキルを向上すること (6) 職場で、男性が家事・育児を担うことに対する理解があること (7) 上司の理解があること (8) 時間当たりの賃金が改善（アップ）すること (9) 配偶者からの積極的な働きかけがあること (10) 昇進・昇給への悪影響を気にせずに済むこと (11) 自分の仕事外の時間の使い方の優先順位を変えること (12) 配偶者が仕事を持つなど、家事・育児に取り組む必要性があること 	<p>《松田副会長》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「夫の家事（育児）関連が短い」という表現を、「男性の家事（育児）関連が短い」という表現にしたほうがよい。→対応 <p>《戸山委員》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (7) 上司の理解があること、との設問は、上司の理解だけでは決してうまくいかないということは皆さんも感じているとは思いますが、実際は同僚のほうが厳しかったりするので、上司に限定しないほうがよい。→問 4 (新規) の (7) に「同僚」を追加 	

平成 23 年度調査項目・追加項目	現行プラン掲載の有無・意見等	平成 28 年度実施項目（案）
<p>[内閣府「若者・女性の活躍推進に関するアンケート調査」(2012 年度)の例]</p> <p>例②. 雇用されている女性が活躍できる仕事・職場環境にするためには何が 必要ですか。次の中から、あてはまるものを選んでください。(〇はいく つでも)</p> <p><input type="checkbox"/> (1) 企業トップが女性の活躍の促進に積極的であること <input checked="" type="checkbox"/> (2) 職場の上司・同僚が、女性に働くことについて理解があること <input type="checkbox"/> (3) 育児・介護との両立についての職場の支援制度が整っていること <input type="checkbox"/> (4) 企業内で長時間労働の必要がないこと、勤務時間が柔軟であること <input type="checkbox"/> (5) 身近に活躍している女性（ロールモデル）がいること <input type="checkbox"/> (6) 仕事が適正に評価されること <input checked="" type="checkbox"/> (7) 仕事の内容にやりがいがあること <input type="checkbox"/> (8) その他（ ）</p> <p>例③. 女性の活躍が進むためには、家族や社会等からどのような支援が必要 ですか。次の中から、あてはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> (1) 男性の積極的な家事・育児・介護参加 <input type="checkbox"/> (2) 夫以外の家族・地域による家事・育児・介護支援 <input checked="" type="checkbox"/> (3) 保育の施設・サービスの充実 <input checked="" type="checkbox"/> (4) 高齢者や病人の施設や介護サービスの充実 <input type="checkbox"/> (5) 利用しやすい（育児・介護以外の）家事サービスがあること <input checked="" type="checkbox"/> (6) スキルアップに向けた研修や就職相談等の再就職しやすい環境が 整っていること <input type="checkbox"/> (7) 起業を希望する際に資金調達やノウハウの取得が容易なこと <input type="checkbox"/> (8) その他（ ）</p>	<p>《戸山委員》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合職として期待されている働き方を、どうやって企業側が従業員に 対して求めていくのかといった、もう少し踏み込んだ質問にしてもよ い。 ・ 場所、時間を問わない働き方を提案していくような選択肢があっても よい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>新規</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性活躍推進の切り口による新規設問 ・ 左記例②と例③を合体して一つにする ・ 例②(7)「仕事の内容にやりがいがあること」 ⇒定型的な仕事にやりがいを感じても「女性活躍」に は繋がらず、人材育成には定型以外の就業経験が必要 なので、「キャリアアップにつながるような仕事を任 せる」に変更する。 </div>	<p>新規</p> <p>[左記②と③を合体して作成]</p> <p>問 7. 女性が活躍するためには、職場や社会、家庭等において、どのような 取組や支援が必要ですか。次の中から、あてはまるものを選んでくださ い。(〇はいくつでも)</p> <p><職場で></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 企業トップが女性の活躍の促進に積極的であること 2. 職場の上司・同僚が、仕事と子育て、家事等の両立について理解が あること 3. 育児・介護との両立についての職場の支援制度が整っていること 4. 企業内で長時間労働の必要がないこと 5. フレックスタイムや在宅勤務など、場所や時間にとらわれない柔軟 な働き方の導入が図られていること 6. 身近に活躍している女性（ロールモデル）がいること 7. 仕事が適正に評価されること 8. キャリアアップにつながるような仕事を任せること 9. その他（具体的に) <p><社会や家庭で></p> <ol style="list-style-type: none"> 10. 政策・方針決定過程の女性を増やすこと 11. スキルアップに向けた講座やセミナーがあること 12. 就職相談等の再就職しやすい環境が整っていること 13. 保育や介護などのサービスが充実していること 14. 男性の積極的な家事・育児・介護への参画 15. その他（具体的に)

平成 23 年度調査項目・追加項目	現行プラン掲載の有無・意見等	平成 28 年度実施項目（案）
<p>問 9. 次の言葉のうち、今回の調査以前にあなたが見たり聞いたりしたことがあるものすべて選んでください。（〇はいくつでも）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1. 男女共同参画社会</p> <p>2. 積極的改善措置（ポジティブ・アクション）</p> <p>3. 固定的性別役割分担意識</p> <p>4. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）</p> <p>5. DV（配偶者からの暴力）</p> <p>6. デートDV（交際相手からの暴力）</p> <p>7. 配偶者暴力相談支援センター</p> <p>8. 見たり聞いたりしたものはない</p> </div>	<p>目標値 P. 7（重点目標 1）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「男女共同参画」という用語の周知度 <p>目標値 P. 35</p> <ul style="list-style-type: none"> 配偶者等からの暴力の相談窓口の周知度（重点目標 4） <p>参考数値 P. 25</p> <ul style="list-style-type: none"> 「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」という用語の周知度（重点目標 3） <p>H18 年度調査の有無</p> <ul style="list-style-type: none"> 有（3～6 は追加、削除：「女性差別撤廃条約」「ジェンダー(社会的差別)」） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>一部追加</p> <ul style="list-style-type: none"> 「クオータ制」「イクボス」「LGBT」を追加する。 </div>	<p>一部追加</p> <p>問 8. 次の言葉のうち、今回の調査以前にあなたが見たり聞いたりしたことがあるものすべて選んでください。（〇はいくつでも）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1. 男女共同参画社会</p> <p>2. 固定的性別役割分担意識</p> <p>3. ポジティブ・アクション（積極的改善措置）</p> <p>4. クオータ制（性別による割り当て制度）</p> <p>5. イクボス</p> <p>6. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）</p> <p>7. DV（配偶者からの暴力）</p> <p>8. デートDV（交際相手からの暴力）</p> <p>9. 配偶者暴力相談支援センター</p> <p>10. LGBT（性的マイノリティ）</p> </div>
<p>問 10. 女性も男性もそれぞれの個性と能力を発揮できる社会の実現をめざして、県では、今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。（〇はいくつでも）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1. 県や市町村の審議会委員や管理職などの政策・方針決定の場への女性の登用</p> <p>2. 女性の参画が少ない分野に女性が参画するための支援</p> <p>3. 出産、育児や介護等により離職した女性に対する再就職等の支援</p> <p>4. 男女共に働き方の見直し（労働時間の短縮や在宅勤務の普及など）</p> <p>5. 保育・介護の施設やサービスの充実</p> <p>6. 配偶者等からの暴力被害者への支援</p> <p>7. 新聞、放送、広告などで女性の人権を尊重した表現が行われるよう促す取組み</p> <p>8. 思春期、妊娠・出産期、高齢期など女性の生涯を通じた健康づくり</p> <p>9. 男性にとっての男女共同参画の意義の理解を促進する広報・啓発活動</p> <p>10. 子どもや若い世代を対象にした、自立する力をつけるための人権・男女平等などの学習機会の充実</p> <p>11. 高齢男女の就労促進、生活自立支援など安心して暮らせる環境の整備</p> <p>12. その他（具体的： ）</p> <p>13. 特にない</p> </div>	<p>《岩田会長》</p> <ul style="list-style-type: none"> 国の第 4 次計画でどういう問題意識が出ているのかということを見て、項目の選び方や書き方を全面的に見直したほうがよい。→文言を修正 <p>H18 年度調査の有無</p> <ul style="list-style-type: none"> 有（1：改定、9：追加、10：改定、11：追加、 削除：「男性の家事参加が男性にとっても価値があることを示した意識啓発」「男女の生き方に関する効率的な情報収集・相談などができるしくみづくり」「男女の生き方に関する NPO 等が活動しやすい場所の提供」） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>一部変更</p> <ul style="list-style-type: none"> 国の第 4 次計画の内容を勘案しながら文言の整理や選択肢の見直しを行う。 </div>	<p>一部変更</p> <p>問 9. 女性も男性もそれぞれの個性と能力を発揮できる社会の実現をめざして、県では、今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。（〇はいくつでも）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1. 政策・方針決定過程への女性の参画拡大<文言修正></p> <p>2. 男女共に働き方の見直し（長時間労働の削減や、場所や時間にとらわれない働き方の実現など）<文言修正></p> <p>3. 保育・介護の施設やサービスの充実</p> <p>4. 出産、育児や介護等により離職した女性に対する再就職等の支援</p> <p>5. 若年層を対象とした、性別にとらわれず多様な選択を可能とするための学習機会の充実<文言修正></p> <p>6. 男性の家事・育児等の参画を促進する広報・啓発活動<文言修正></p> <p>7. メディアにおける固定的性別役割分担意識に基づく表現をなくす取り組み</p> <p>8. 思春期、妊娠・出産期、高齢期など女性の生涯を通じた健康づくり</p> <p>9. 配偶者等からの暴力被害者への支援</p> <p>10. 貧困・高齢・障害等により、困難を抱えた女性等が安心して暮らせる環境の整備<文言修正></p> <p>11. 防災や災害時、復興過程における女性の参画や女性視点による体制確立<新規></p> <p>12. その他（具体的： ）</p> <p>13. 特にない</p> </div>

平成 23 年度調査項目・追加項目	現行プラン掲載の有無・意見等				平成 28 年度実施項目（案）																																																																													
<p>問 8. あなたは、次のようなことが夫婦（事実婚や別居中を含む）の間で行われた場合、それを暴力だと思いますか。(1)から(9)のそれぞれについて選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)</p>	<p>目標値 同 P. 35（重点目標 4）</p> <ul style="list-style-type: none"> 夫婦間における次のような行為を暴力と認識する人の割合 「交友関係や電話を細かく監視する」「大声で怒鳴る」「平手で打つ」「生活費を渡さない」 <p>グラフ掲載 同 P. 38（重点目標 4）</p> <ul style="list-style-type: none"> 夫婦間での行為における暴力としての認識 《吉田委員》 暴力の種類を減らしてもいい。LINEの返信などの行動チェックも暴力なのだということがわかるようにしてほしい。「拘束」も暴力なのだということがわかるように。 <p>《松田副会長》</p> <ul style="list-style-type: none"> 夫婦間だけでなく、恋人間での暴力も調査したほうがよい。例えば、問 8 の B として「恋人間での行為における暴力としての認識」という設問を作ったらどうか。→H29 基本調査で実施 <p>H18 年度調査の有無 ・有 ((9)は追加)</p>				<p>一部削除</p> <p>問 10. あなたは、次のようなことが夫婦（事実婚や別居中を含む）の間で行われた場合、それを暴力だと思いますか。(1)から(4)のそれぞれについて、選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)</p>																																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>暴力にあたる</th> <th>うでない場合もある</th> <th>暴力にはあたらぬ場合もそ</th> <th>暴力にはあたらぬ</th> <th>わからない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 交友関係や電話を細かく監視する</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>(2) 何を言っても長時間無視し続ける</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>(3) 大声でどなる</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>(4) なぐるふりをして、おどす</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>(5) いやがっているのに性的な行為を強要する</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>(6) 平手で打つ</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>(7) 足でける</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>(8) 刃物などを突きつけて、おどす</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>(9) 生活費を渡さない</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>		暴力にあたる	うでない場合もある	暴力にはあたらぬ場合もそ	暴力にはあたらぬ	わからない	(1) 交友関係や電話を細かく監視する	1	2	3	4	(2) 何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3	4	(3) 大声でどなる	1	2	3	4	(4) なぐるふりをして、おどす	1	2	3	4	(5) いやがっているのに性的な行為を強要する	1	2	3	4	(6) 平手で打つ	1	2	3	4	(7) 足でける	1	2	3	4	(8) 刃物などを突きつけて、おどす	1	2	3	4	(9) 生活費を渡さない	1	2	3	4	<p>一部削除</p> <ul style="list-style-type: none"> 設問を現在指標として設定している (1) (3) (6) (9) のみに減らす。 (2) (4) (5) (7) (8) 及び今回設問できない「恋人間暴力の認識」等については、改めて H29 年度県民ニーズ調査で実施。(DVプラン改定作業に向けて) 				<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>暴力にあたる</th> <th>うでない場合もある</th> <th>暴力にはあたらぬ場合もそ</th> <th>暴力にはあたらぬ</th> <th>わからない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 交友関係や電話・メールなどを細かく監視する</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>(2) 大声でどなる</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>(3) 平手で打つ</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>(4) 生活費を渡さない</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>		暴力にあたる	うでない場合もある	暴力にはあたらぬ場合もそ	暴力にはあたらぬ	わからない	(1) 交友関係や電話・メールなどを細かく監視する	1	2	3	4	(2) 大声でどなる	1	2	3	4	(3) 平手で打つ	1	2	3	4	(4) 生活費を渡さない	1	2	3	4
	暴力にあたる	うでない場合もある	暴力にはあたらぬ場合もそ	暴力にはあたらぬ	わからない																																																																													
(1) 交友関係や電話を細かく監視する	1	2	3	4																																																																														
(2) 何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3	4																																																																														
(3) 大声でどなる	1	2	3	4																																																																														
(4) なぐるふりをして、おどす	1	2	3	4																																																																														
(5) いやがっているのに性的な行為を強要する	1	2	3	4																																																																														
(6) 平手で打つ	1	2	3	4																																																																														
(7) 足でける	1	2	3	4																																																																														
(8) 刃物などを突きつけて、おどす	1	2	3	4																																																																														
(9) 生活費を渡さない	1	2	3	4																																																																														
	暴力にあたる	うでない場合もある	暴力にはあたらぬ場合もそ	暴力にはあたらぬ	わからない																																																																													
(1) 交友関係や電話・メールなどを細かく監視する	1	2	3	4																																																																														
(2) 大声でどなる	1	2	3	4																																																																														
(3) 平手で打つ	1	2	3	4																																																																														
(4) 生活費を渡さない	1	2	3	4																																																																														